

JDSF メールマガジン (2008年7月)
「SaaS ストレージ」

JDSF SNT 部会
株式会社 ネットマークス
斉木栄作

ストレージビジネスに関わる諸氏は SSP という言葉をご記憶であろうか？時代は今から 6 年位前に遡るが、ファイバチャネル技術が登場し現在の SAN が提唱された。それまでサーバとストレージは 1:1 の関係であったが、ファイバチャネルを使ってサーバ群とストレージ群はネットワーク接続されるようになった。現在では SAN が普及し、極当たり前の構成である。

このときのビジネスモデルとして SSP (ストレージサービスプロバイダ) が提案され、米国を主にいくつもの企業が設立された。企業のデータを安全に預かり、一ヶ月ギガバイト当たり何\$の収益を得るといったビジネスモデルであった。日本に進出した企業もあったし、日本でこうしたデータ保管ビジネスを始めるところも出てきた。そして SSP が次世代のストレージビジネスの目玉になると思われた。しかしながらその後こうしたビジネスはほとんど姿を消し、SSP 企業もビジネスの世界から消え去った。今から振り返ると、理由は多分・・・

大切な企業データを他人に預けるといった不安感がぬぐえない。
SSP サービス価格が高すぎたため大企業のデータをターゲットにした。
特別な高速通信回線を準備する必要があった。

ではなかろうか。端的に言えば、当時の大企業の担当者にはデータを SSP に預ける動機は見当たらなかったのであろう。

最近コンピュータシステムやソフトウェアを自前で購入し運営する代わりに、サービスを購入するという SaaS が大流行である。SMB といわれる企業から、大手の企業でも基幹の業務を除いた支援業務をどんどん SaaS に置き換えているようである。これは第一に自前でシステムを運営する余裕がなくなってきたこと、早くビジネスを立ち上げたいというニーズと、コンプライアンスを守るということのコスト負担などからきているものと思われる。更に自前のシステムを持たずに SaaS サービス企業に任せるといったことに対するアレルギーが、時代と共に少なくなってきたともいえる。

そこで最近 SaaS ストレージという言葉が出てきて、データバックアップ、ディザスタリカバリを請け負います、というビジネスが出始めてきた。考えて見

ればこれは正に 5~6 年前の SSP であり、現在の SSP を SSP 2.0 という人もいる。SSP という言葉のトラウマから SaaS ストレージと叫んでいるのが真相ともいえる。SaaS は “Software as a Service” であるから言葉として若干違和感がないわけではないが、一応サービスであるからデータバックアップを請け負いますとか、遠隔データサービスをしますとか、災害時のデータリカバリをいたしますという風に姿形を変えているのであろう。既に大手のストレージメーカーもこうしたビジネスの発表を行っているところもある。

あえて第一段階のストレージサービスを SSP 1.0 と言わせて貰えば、最初はハイエンドのデータ、つまりハイエンド顧客のクリティカルデータをターゲットにした。これは上に挙げた理由で成功はしなかった。第二世代としての SaaS ストレージでは SMB をターゲットにしているところが大きな違いであると思われる。

今後 SaaS ストレージビジネスが成功するか否かは分からない。しかし下に挙げる様に SSP 1.0 の時代とは環境が大きく変わったことは確かである。

サーバ・ストレージ装置の価格が急激に低下した。

インターネット光回線の普及と価格が低下した。

SMB 企業においてもデータ管理に関する意識が向上した

社外に仕事を預けるということに対する企業のアレルギーが減少した。

ビジネスの立ち上げに十分な時間と技術者を確保できないほど、競争が激しくなり、ビジネスのスピードが速くなった。

コンピュータがデータセンターに集中投資されサービスが安くなった。

サプライ側のコンプライアンス、安心、安全サービスがより明示的になった。

Green IT 化への要請が強くなった。(これからますます強くなる)

コンプライアンス管理強化に伴いデータバックアップや DR のニーズが増した。

顧客になるであろう企業は主として SMB、Web 系が多いと思われるが、サプライ側が幾らでサービスを提供できるか？ビジネスになるか？のバランスで今後が決まると思われる。これから本格的にサービスが始まる NGN のような大きな ISP、建設中の多くのデータセンターがこうしたストレージサービスもそのビジネスの範疇にいれてくるものと思われる。SSP などと大上段に振りかぶらなくとも自然にサービスの一つとして浸透していくのかもしれない。

完